

科目名	保育内容（音楽表現）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	2 単位	1 年次	後期			
担当者名	村上 玲子		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 必修			
<b>授業概要</b> 子どもの豊かな感性や自己表現力・創造性を育てるための音・音楽環境のあり方や音楽表現活動の内容について学び、歌うことや楽器・自然音を使った音遊び、身体表現遊び等、子どもの総合的音楽表現活動の構造化と実践・展開ができるようになることを目的とする。同時に、保育者としての豊かな感性や表現力、創造性も身に付ける。							
<b>到達目標</b> ①子どもの発達と音楽表現活動の意義について述べることができる。 ②子どもの音楽能力の発達を説明することができる。 ③子どもの発達に沿った具体的な音楽表現活動の実践・展開を行うことができる。 ④子どもの音楽教育法や指導法を示すことができる。 ⑤子どもの音楽環境の整備と音楽表現活動の組み立てや教材を工夫することができる。						<b>成績評価方法</b> 期末定期試験、小テスト、授業外レポート、グループ学習、課題発表、授業への意欲・態度による総合評価	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			10
宿題、授業外レポート		○	○	○			10
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		5
演習	○	○	○	○	○		5
実習							
授業計画と概要					アクティブラーニング		
1) 授業ガイダンス、子どもの発達と表現活動 表現のプロセス、音楽表現活動の意義、保育内容領域「表現」の捉え方					・小テスト		
2) 音楽の基礎的な要素と音楽表現 呼吸と拍、テンポと強弱、拍子とリズム、形式とニュアンス					グループワーク		
3) 子ども発達と音楽表現 発達年齢に応じた遊びの展開 乳児から6歳までの発達と、手あそび、歌あそび					グループワーク		

4) 子どもの発達と聴く活動	グループワーク
聴く活動の意義とねらい、聴く活動の実践と実践	小テスト
5) 子どもの発達と歌う活動	グループワーク
歌う活動の意義とねらい、子どもの歌について、歌を通じた表現活動	小テスト
6) 歌う活動の援助について	グループワーク
歌唱表現活動の実践と保育者のかかわり、歌遊びの援助方法	
7) 子どもの発達と奏でる活動	グループワーク
奏でる活動の意義とねらい、楽器の奏法、楽器の演奏方法	小テスト
8) 奏でる活動の援助について	グループワーク
楽器の活動における選曲、楽器の選び方、リズム譜の書き方、合奏	
9) 子どもの発達と動く活動	グループワーク
動く活動の意義とねらい、身体表現と基礎的動き、空間・空間と動き	小テスト
10) 動く活動にあった援助について	グループワーク
音楽のイメージと身体表現、ボディーパーカッション、歌と動きのコラボ	
11) 子どもの発達とつくる活動	グループワーク
つくる活動の意義とねらい、聴く・歌う・奏でる・動く活動の作り方	宿題（製作課題）
12) 子どものつくる活動にあった援助	グループワーク
効果音や歌を通じた表現活動、手作り楽器を作って遊ぶ	宿題（製作課題）
13) 総合的音楽表現活動の実践	グループワーク
視覚的補助教材を使った音楽表現活動*冬季休業中に、視覚教材を使った音楽表現活動の教材を製作し、授業時に発表する。	宿題（製作課題）
14) 総合的音楽表現活動の実践	グループワーク
音楽劇を作って演じる・表現する	
15) 世界の音楽教育法	グループワーク
ダルクローズ、オルフ、コダーイ、シュタイナー、モンテッソーリ	
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください。</p> <p>テキストや配布資料は復習してください。</p> <p>授業で取り上げた子どもの歌は、練習し暗譜してください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「アクティブラーニングを取り入れた子どもの発達と音楽表現」（学文社）2015年 「こどものうた100」（チャイルド本社） 「保育所保育指針」（厚生労働省）／「幼稚園教育要領」（文部科学省） 適宜資料・楽譜を配布します。	音楽Ⅰ・音楽Ⅱ 音楽Ⅲ・音楽Ⅳ 保育内容総論
備考	
・音楽表現活動に積極的に参加してください。／・楽譜や配布資料を整理保管してください。 ・グループ活動では、自分の意見を持ち他者の意見も受容し、自分の役割を果たしてください。	